

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	臨床看護実践論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	16 (1) 時間(単位)
対象学年	1学年		学期及び曜時限	後期	教室名	1A・1B 教室
担当教員	岡田千鶴 圓尾千絵	実務経験と その関連資格	国立病院機構で36年勤務、20年、管理職、最終は看護部長職口 ／公立病院で15年勤務口			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>学内で学んだ知識・技術を統合し、健康障害を持つ対象の状態や状況に応じた看護が実践できるように、問題解決能力に必要な思考力を養う。臨地実習により近い状況で学内演習を行い、グループワークをすることで共有理解し、多様化した状況に対応できる能力を養う。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>提出レポートで評価する</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>任和子・大西弘高 ナーシング・グラフィカ 基礎看護学⑤ 臨床看護総論 MCメディカ出版 (デジタル版)</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>授業前に指定した教科書を事前に読んでおくこと 前回の授業について復習をしておくこと リフレクションシートや課題レポートは提出期限を厳守すること</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>あらゆる看護の対象に共通している経過と症状と指導の方法について学びます。成人看護学をはじめとするあらゆる領域の看護とも関連も深い科目です。また、臨地実習においても対象理解をする際に、「経過」と「症状」は欠かせない内容です。今まで学習してきた解剖・生理や病態と治療などの知識と関連させて学びましょう。</p>						
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容		
第1回	講義形式	<p>授業を通じての到達目標</p> <p>看護師に求められる実践能力</p>	教科書、タブレット	次回の授業に関連する予習し授業に臨む		
	各コマにおける授業予定	<p>看護実践におけるキーワード</p> <p>1. 観察 2. 環境調整 3. 安全 4. 安楽 5. 説明・指導</p> <p>事例説明(発熱のある患者)</p>				
第2回	演習形式	<p>授業を通じての到達目標</p> <p>発熱時の看護計画の立案ができる①(GW)</p>	教科書、タブレット	看護計画を立案して受講すること		
	各コマにおける授業予定	<p>悪寒戦慄時、高熱時、解熱時それぞれの看護計画を立案する</p>				
第3回	演習形式	<p>授業を通じての到達目標</p> <p>発熱時の看護計画の立案ができる②(GW)</p>	教科書、タブレット	看護計画を立案して受講すること		
	各コマにおける授業予定	<p>悪寒戦慄時、高熱時、解熱時それぞれの看護計画を立案する</p>				
第4回	演習形式	<p>授業を通じての到達目標</p> <p>発熱時に提供する看護の技術ごとの模擬実践を行い、看護計画の追加修正が出来る①</p>	教科書、タブレット	立案した看護計画を持って受講すること		
	各コマにおける授業予定	<p>【演習:実習室】</p> <p>立案した援助計画をもとに、模擬実践を行う</p> <p>発熱のある患者の看護計画を修正する</p>				
第5回	演習形式	<p>授業を通じての到達目標</p> <p>発熱時に提供する看護の技術ごとの模擬実践を行い、看護計画の追加修正が出来る②</p>	教科書、タブレット	立案した看護計画を持って受講すること		
	各コマにおける授業予定	<p>【演習:実習室】</p> <p>立案した援助計画をもとに、模擬実践を行う</p> <p>発熱のある患者の看護計画を修正する</p>				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	修正した看護計画をもとに援助の模擬練習が出来る	教科書、タブレット	前講義までに記載したリフレクションシート、看護計画、他者評価シートを持参
		各コマにおける授業予定	【演習:実習室】 修正した援助計画をもとに、援助の模擬練習と振り返りを行う		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	修正した看護計画をもとに援助を実施することが出来る	教科書、タブレット	前講義までに記載したリフレクションシート、看護計画、他者評価シートを持参
		各コマにおける授業予定	【演習:実習室】 修正した援助計画をもとに援助を実施し、 他者評価(学生同士)を得て、自己の援助について振り返る		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	実施した看護について振り返り、今後の自己の課題を明確にすることが出来る	教科書、タブレット	前講義までに記載したリフレクションシート、看護計画、他者評価シートを持参
		各コマにおける授業予定	実施した看護について振り返り、さらなる疑問・課題について意見交換を行う GW、発表、全体討議を通し、自己の課題を明確にする		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			